



## 平成27年11月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月14日

東

上場会社名 サムティ株式会社 上場取引所  
 コード番号 3244 URL http://www.samty.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 江口 和志  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 松井 宏昭 (TEL) 06(6838)3616  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成27年11月期第1四半期の連結業績(平成26年12月1日～平成27年2月28日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年11月期第1四半期	3,409	33.5	550	70.9	85	—	611	561.0
26年11月期第1四半期	2,553	△64.4	322	△74.1	△47	—	92	△83.0

(注) 包括利益 27年11月期第1四半期 709百万円(664.8%) 26年11月期第1四半期 92百万円(△83.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年11月期第1四半期	27.57	26.73
26年11月期第1四半期	4.73	3.80

(注) 当社は、平成26年4月1日付で普通株式1株につき100株の株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年11月期第1四半期	109,074	23,682	21.5
26年11月期	99,709	24,966	23.3

(参考) 自己資本 27年11月期第1四半期 23,473百万円 26年11月期 23,237百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年11月期	—	0.00	—	22.00	22.00
27年11月期	—	—	—	—	—
27年11月期(予想)	—	0.00	—	26.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成27年11月期の連結業績予想(平成26年12月1日～平成27年11月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
通期	34,000	39.6	5,600	38.5	3,500	51.9	2,600	12.8	117.16

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2. 第2四半期(累計)の連結業績予想に関しては、個別案件の売上時期に流動的な外部要素が多いため、予想の開示は見合わせております。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年11月期1Q	23,790,861株	26年11月期	23,790,861株
② 期末自己株式数	27年11月期1Q	1,600,082株	26年11月期	1,600,000株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年11月期1Q	22,190,806株	26年11月期1Q	19,536,200株

(注) 当社は平成26年4月1日付で普通株式1株を100株に分割する株式分割を行っております。上記の株式数については前連結会計年度の期首に株式分割が行われたと仮定して算定しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ですが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表レビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	1
(1) 経営成績に関する説明 .....	1
(2) 財政状態に関する説明 .....	1
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	10
(継続企業の前提に関する注記) .....	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	10
(セグメント情報等) .....	10
(重要な後発事象) .....	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、政府の積極的な経済政策と日銀の金融緩和政策などを背景にして、円安・株高が継続し、大企業を中心に企業収益が改善するなど景気は緩やかながら回復基調で推移しております。しかしながら、消費者マインド低迷の長期化や海外景気の下振れリスクなど先行き不透明な状況にあります。

当社グループの属する不動産業界におきましては、良好な資金調達環境と旺盛な物件取得意欲を背景に、不動産売買が活発化しております。今後は、円安を背景とした海外投資家の投資拡大も期待されており、事業環境は概ね順調に推移しております。

このような事業環境下におきまして、当社グループは、現在進めております中長期経営計画「Challenge 40」に則り、総合不動産業としての絶対的な地位の確立を目指し、事業を推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高3,409百万円（前年同四半期比33.5%増）、営業利益550百万円（前年同四半期比70.9%増）、経常利益85百万円（前年同四半期は47百万円の経常損失）、四半期純利益611百万円（前年同四半期比561.0%増）となりました。

（セグメント別の状況）

#### ①不動産事業

不動産事業は、自社ブランド「S-RESIDENCE」シリーズ等の企画開発・販売及び収益不動産等の再生・販売を行っております。また、投資用マンションの企画開発・販売を行っております。

投資用マンションとして「レオンコンフォート本町（大阪市中央区）」、「ベルグレードSK DUE（東京都足立区）」において69戸を売却いたしました。

この結果、当該事業の売上高は1,353百万円（前年同四半期比25.2%増）、営業利益は48百万円（前年同四半期比45.5%減）となりました。

#### ②不動産賃貸事業

不動産賃貸事業は、マンション、オフィスビル、商業施設、ホテル等の賃貸及び管理を行っております。

賃料収入の増加を図るべく、営業エリアの拡大並びに収益不動産の仕入の強化に努め、「サンレジデンス慶徳（熊本市中央区）」「サムティ室見（福岡市早良区）」「プリオ大名Ⅱビル（福岡市中央区）」等を取得いたしました。

この結果、当該事業の売上高は1,899百万円（前年同四半期比43.0%増）、営業利益は833百万円（前年同四半期比52.3%増）となりました。

#### ③その他の事業

その他の事業は、「センターホテル東京（東京都中央区）」及び「センターホテル大阪（大阪市中央区）」の2棟のビジネスホテルの保有・運営に加え、分譲マンション管理事業及び建設・リフォーム業を行っております。

この結果、当該事業の売上高は155百万円（前年同四半期比8.5%増）、営業利益は41百万円（前年同四半期比85.2%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第1四半期連結会計期間の資産合計は、前連結会計年度末と比べ、9,365百万円増加し、109,074百万円となっております。このうち流動資産は7,255百万円増加し、52,866百万円となっており、固定資産は1,990百万円増加し、56,047百万円となっております。流動資産の主な増加要因は、販売用不動産が12,150百万円、未収消費税が587百万円それぞれ増加する一方で、現金及び預金が1,998百万円、仕掛販売用不動産が3,856百万円それぞれ減少したことなどによるものであります。固定資産の主な増加要因は、有形固定資産が1,569百万円、投資その他の資産が429百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

（負債）

当第1四半期連結会計期間の負債合計は、前連結会計年度末と比べ、10,649百万円増加し、85,391百万円となっております。このうち流動負債は5,668百万円増加し、23,524百万円となっており、固定負債は4,980百万円増加し、61,867百万円となっております。流動負債の主な増加要因は、短期借入金が6,590百万円増加する一方で、未払法人税等が1,173百万円減少したことなどによるものであります。固定負債の主な増加要因は、長期借入金が4,125百万円、預り敷金保証金が861百万円それぞれ増加したことなどによるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間の純資産合計は、四半期純利益の計上により利益剰余金が611百万円増加する一方で、配当金の支払いにより利益剰余金が488百万円、合同会社アンビエントガーデン守山の完全子会社化に伴い少数株主持分が1,541百万円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末と比べ1,283百万円減少し、23,682百万円となっております。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、営業活動により9,504百万円減少、投資活動により3,145百万円減少、財務活動により10,651百万円増加した結果、前連結会計年度末と比べ、1,998百万円減少し、当第1四半期連結累計期間末には7,514百万円となりました。

当第1四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における営業活動により使用した資金は、9,504百万円(前第1四半期連結累計期間は2,010百万円の支出)となりました。これは主に、たな卸資産の増加8,296百万円、法人税等の支払額1,164百万円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における投資活動により使用した資金は、3,145百万円(前第1四半期連結累計期間は2,596百万円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,836百万円、連結子会社株式の追加取得による支出970百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第1四半期連結累計期間における財務活動により獲得した資金は、10,651百万円(前第1四半期連結累計期間は1,694百万円の収入)となりました。これは主に、短期借入れによる収入8,631百万円、短期借入金の返済による支出2,040百万円、長期借入れによる収入5,829百万円、長期借入金の返済による支出1,235百万円、配当金の支払いによる支出488百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月期の業績予想につきましては、平成27年1月14日に公表いたしました「平成26年11月期決算短信(連結)」の業績予想から変更はありません。

なお、実際の業績等は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動  
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用  
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
該当事項はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,023	8,025
売掛金	218	193
販売用不動産	17,377	29,528
仕掛販売用不動産	17,324	13,467
商品	0	0
貯蔵品	1	3
繰延税金資産	232	217
その他	440	1,439
貸倒引当金	△7	△7
流動資産合計	45,611	52,866
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	21,126	21,681
信託建物（純額）	4,154	4,202
土地	23,136	24,100
信託土地	2,359	2,360
その他（純額）	68	69
有形固定資産合計	50,846	52,415
無形固定資産		
のれん	107	105
その他	58	52
無形固定資産合計	165	158
投資その他の資産		
投資有価証券	1,665	2,181
繰延税金資産	174	114
その他	1,224	1,196
貸倒引当金	△19	△19
投資その他の資産合計	3,044	3,473
固定資産合計	54,056	56,047
繰延資産		
創立費	0	0
開業費	41	160
繰延資産合計	41	160
資産合計	99,709	109,074

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年11月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,489	1,287
繰延税金負債	1	1
短期借入金	2,732	9,323
1年内返済予定の長期借入金	10,802	11,270
未払法人税等	1,217	43
その他	1,612	1,598
流動負債合計	17,856	23,524
固定負債		
長期借入金	52,147	56,273
繰延税金負債	1,895	1,893
退職給付に係る負債	82	89
預り敷金保証金	1,990	2,851
建設協力金	759	745
その他	11	13
固定負債合計	56,886	61,867
負債合計	74,742	85,391
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,893	6,893
資本剰余金	6,793	6,793
利益剰余金	10,583	10,706
自己株式	△1,068	△1,068
株主資本合計	23,201	23,325
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	35	148
その他の包括利益累計額合計	35	148
新株予約権	187	208
少数株主持分	1,541	—
純資産合計	24,966	23,682
負債純資産合計	99,709	109,074

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
売上高	2,553	3,409
売上原価	1,656	2,151
売上総利益	897	1,257
販売費及び一般管理費	575	707
営業利益	322	550
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	37	0
保険解約返戻金	0	6
金利スワップ評価益	0	—
その他	2	1
営業外収益合計	42	9
営業外費用		
支払利息	343	422
支払手数料	26	42
持分法による投資損失	40	—
その他	1	10
営業外費用合計	412	474
経常利益又は経常損失(△)	△47	85
特別利益		
固定資産売却益	273	5
負ののれん発生益	—	555
特別利益合計	273	560
特別損失		
固定資産売却損	36	—
固定資産除却損	0	6
特別損失合計	36	6
税金等調整前四半期純利益	189	639
法人税、住民税及び事業税	58	34
法人税等調整額	38	9
法人税等合計	96	43
少数株主損益調整前四半期純利益	92	595
少数株主損失(△)	—	△16
四半期純利益	92	611

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	92	595
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	0	113
その他の包括利益合計	0	113
四半期包括利益	92	709
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	92	725
少数株主に係る四半期包括利益	—	△16

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成25年12月1日 至平成26年2月28日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成26年12月1日 至平成27年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	189	639
減価償却費	235	245
のれん償却額	1	2
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△13	0
受取利息及び受取配当金	△38	△1
支払利息	343	422
持分法による投資損益(△は益)	40	—
有形固定資産売却損益(△は益)	△237	△5
負ののれん発生益	—	△555
退職給付引当金の増減額(△は減少)	1	—
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	—	7
売上債権の増減額(△は増加)	28	25
たな卸資産の増減額(△は増加)	△1,477	△8,296
仕入債務の増減額(△は減少)	147	△201
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	29	861
その他	△551	△1,062
小計	△1,300	△7,918
利息及び配当金の受取額	38	1
利息の支払額	△418	△423
法人税等の支払額	△328	△1,164
営業活動によるキャッシュ・フロー	△2,010	△9,504
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
連結子会社株式の追加取得による支出	—	△970
定期預金の払戻による収入	30	—
有形固定資産の売却による収入	1,173	22
有形固定資産の取得による支出	△3,830	△1,836
投資有価証券の取得による支出	—	△368
投資有価証券の償還による収入	42	25
無形固定資産の取得による支出	△1	△0
出資金の清算による収入	0	—
出資金の払込による支出	△0	△2
長期貸付金の回収による収入	0	—
建設協力金の支払による支出	△10	△13
その他	—	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,596	△3,145
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,637	8,631
短期借入金の返済による支出	△1,214	△2,040
長期借入れによる収入	4,772	5,829
長期借入金の返済による支出	△3,154	△1,235
株式の発行による収入	5	—
自己株式の取得による支出	—	△0
配当金の支払額	△319	△488
その他	△31	△43
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,694	10,651
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△2,912	△1,998
現金及び現金同等物の期首残高	7,681	9,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,769	7,514

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成25年12月1日至平成26年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,081	1,328	143	2,553	—	2,553
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	41	41	△41	—
計	1,081	1,328	185	2,595	△41	2,553
セグメント利益	88	547	22	658	△336	322

(注) 1. セグメント利益の調整額△336百万円は、セグメント間取引消去△29百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△306百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成26年12月1日至平成27年2月28日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	不動産事業	不動産賃貸 事業	その他の 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	1,353	1,899	155	3,409	—	3,409
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	41	41	△41	—
計	1,353	1,899	197	3,450	△41	3,409
セグメント利益	48	833	41	923	△373	550

(注) 1. セグメント利益の調整額△373百万円は、セグメント間取引消去△18百万円、各報告セグメントに配賦されない全社費用△354百万円であります。全社費用は、報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整しております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

不動産事業において、平成27年2月27日に連結子会社である合同会社アンビエントガーデン守山を営業者とする匿名組合への出資を追加取得して合同会社アンビエントガーデン守山を完全子会社化いたしました。これにより555百万円の負ののれん発生益を計上しておりますが、特別利益のため報告セグメントには配分しておりません。

(重要な後発事象)

1. 新株予約権付社債の発行

当社は、平成27年3月4日開催の取締役会決議により、2020年満期円貨建転換社債型新株予約権付社債を発行し、平成27年3月20日に払い込みが完了しております。その概要は以下のとおりであります。

- (1) 発行総額：40億円
- (2) 払込金額：額面金額の100%
- (3) 募集価格(発行価格)：額面金額の102.5%
- (4) 利率：利息は付さない。
- (5) 償還金額：額面金額の100%
- (6) 償還期限：平成32年3月19日
- (7) 新株予約権に関する事項
  - ① 新株予約権の目的となる株式の種類  
当社普通株式
  - ② 発行する新株予約権の総数  
800個
  - ③ 転換価額  
1株当たり1,003円(当初)
  - ④ 行使期間  
平成27年4月7日から平成32年3月5日まで(ルクセンブルク時間)
- (8) 払込期日：平成27年3月20日
- (9) 担保又は保証：担保又は保証を付さない。

(10) 資金の用途

平成27年11月末までに約30億円を販売用不動産及び開発用地の取得資金に充当する予定です。また、約10億円を自己株式取得資金に充当する予定でありましたが、平成27年4月7日までに取得を終了し、充当済となっております。

2. 自己株式の取得

当社は、平成27年3月4日開催の取締役会において、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式を取得することを決議し、以下のとおり取得いたしました。

- (1) 理由  
資本効率の向上と経営環境に応じた機動的な資本政策、株主への利益還元等。
- (2) 取得する株式の種類：当社普通株式
- (3) 取得する株式の総数：1,200,000株(上限)  
(発行済株式総数(自己株式を除く。)に対する割合 5.41%)
- (4) 株式取得価額の総額：10億円(上限)
- (5) 自己株式の取得期間：平成27年3月5日から平成27年4月30日まで
- (6) 取得方法：東京証券取引所の自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付及び東京証券取引所における市場買付
- (7) 取得結果

自己株式立会外買付取引(ToSTNeT-3)による買付及び市場買付の結果、平成27年4月7日までに当社普通株式1,103,100株(取得価額999,959,200円)を取得いたしました。これにより、当該決議に基づく自己株式の取得はすべて終了いたしました。

## 3. 販売用不動産の売却

当社は、平成27年3月4日開催の取締役会において、当社の連結子会社であるサムティアセットマネジメント株式会社を設立企画人として設立される投資法人(サムティ・レジデンシャル投資法人)に対し、その設立及び当該投資法人による取得資金の調達を条件に当社の保有する販売用不動産を売却する方針を決議し、その後、売却のための条件が整ったことから、平成27年4月13日に以下のとおり契約を締結いたしました。

## (1) 売却先の概要

商号	サムティ・レジデンシャル投資法人
本店所在地	東京都千代田区丸の内一丁目8番3号
設立	平成27年3月16日
役員	執行役員 川本 哲郎 監督役員 藤木 隆弘 監督役員 中原 健夫

## (2) 売却不動産の概要

所在地	種類	延床面積 (㎡)	地積 (㎡)
大阪市淀川区	賃貸マンション	1,401.31	341.53
大阪府大東市	賃貸マンション	4,685.77	857.98
仙台市宮城野区	賃貸マンション	3,818.55	945.07
福岡市博多区	賃貸マンション	2,895.99	669.25
名古屋市中川区	賃貸マンション	8,777.74	2,516.06
名古屋市名東区	賃貸マンション	2,105.34	700.06
横浜市南区	賃貸マンション	1,878.68	414.17
静岡市葵区	賃貸マンション	1,197.14	240.65

## (3) 売却の日程

取締役会決議日	平成27年3月4日
契約締結日	平成27年4月13日
物件引渡期日	平成27年4月15日(予定)

## (4) 当該事象の損益に与える影響額

当該販売用不動産の売却により、平成27年11月期において、売上高9,298百万円、売却益1,067百万円を計上する見込みです。